















第90回関東学生陸上競技対抗選手権大会

女子総合で19連覇果たす

男子 惜しくも総合3位 走り高跳で戸邊が2連覇

陸上

第90回関東学生陸上競技対抗選手権大会が先月14日、22日の2日間、国立競技場(東京・新宿区)で行われた。本学は女子が19年連続21回目の総合優勝を成し遂げ、来年の20年連続優勝に1歩をかけた。男子は惜しくも3位だった。

女子は、大会2日目、佐野由実(体専4年)と中野暉(同3年)が女子1000円で1、2フィニッシュ。三段跳の前田和香(同)が12.86で快勝、ハシマツの天崎かな(同1年)が1年ながら49.39で1年連続2度、選手権の厚さを示した。1週目終了の時点で、総合1位をキープした。

女子は、大会2日目、佐野由実(体専4年)と中野暉(同3年)が女子1000円で1、2フィニッシュ。三段跳の前田和香(同)が12.86で快勝、ハシマツの天崎かな(同1年)が1年ながら49.39で1年連続2度、選手権の厚さを示した。1週目終了の時点で、総合1位をキープした。

2週目は、中野が走り高跳で6.18で優勝したほか、最終日に行われた4×100リレー決勝で、中野、立山恵(同3年)、佐野、阿部瑛美(同4年)のチームが底力を見せ、45秒73で有終の美を飾った。

トラック競技の得点、優勝種目は中央大に及ばなかったものの、フィールド競技では2位の中央大を大きく引き離し、総合得点は145.5点と2位の中央大に12.5点差をつけて総合優勝を勝ち取った。

男子は大会初日、昨年の日本インカレで優勝した大室秀樹(同4年)が10.07でHを14で制した。昨年の同大会優勝した走り高跳の戸邊真人(同2年)も安定した強さを見せ、2

新ユニフォームを披露 男子 大会は4位に終わる

バスケット

第46回筑波大学・日本体育大学定期戦が先月1日に代々木第二体育館で行われ、本学バスケ部と対戦した。新ユニフォームが披露された。

昨年7月、筑波大学ラウンディングの環として本学運動部のユニフォームがブルーのスクールカラーで統一された。今まではスケッチボール部のユニ



披露された新ユニフォーム(写真提供:筑波大学スポーツアシション)

フォームは緑色の白のラインが入ったデザインだったが、新しいユニフォームは鮮やかな明るい青に濃い青色でラインが入り、統一された校章の「五三の桐」やロゴマークがあらわにされた。

日頃定期戦の結果は、男子は81-93、女子は73-69と大高敏弘監督(体育)教授は「新しいユニフォームは、まだ見慣れないが、選手たちは新しい伝統を作ろうと頑張っている」と語った。

また、先月4日-15日で行われた第60回関東全六

スケッチボール選手権会では、男子が3位決勝戦で東海大学に敗れ、4位の成績を収めた。



(左)女子1000円で優勝の佐野(写真中央)と2位の中野(写真右) (右)男子1100円で優勝の入室(写真提供:筑波大学スポーツアシション)

春季リーグ戦

野球 震災の影響あり5位 入れ替え戦は免れる

首都大学野球春季リーグが4月10日-5月23日に、平塚球場(神奈川県平塚市)で行われた。本学は3勝8敗で5位に終わった。

シーズン前は苦戦続きだった。帝京戦、武蔵大戦と4連敗。震災の影響でチームがまともにまわらなくなった。川村卓監督(体育)は「振り返る。振機をたたくのは東海大戦。2連敗したものの、怪我で出遅れた平井孝加(体専1年)が復帰し、平(同3年)の名門投手、8回には本真(同2年)の適時打、鈴木喜敏(同4年)のスクイズなどで集打線につながりが出た。5月6日の城西大戦の1回戦、5回までは無得点だったものの、6回表に松浦昌平(同2年)の適時三塁打で先制。平井の適時打も飛び出し、この回で2点を追いついた。川村監督は「0と快勝した。川村監督は打線につなぐことが出来た。川村監督は「調整不足」になった。調整不足」になったが、悪い点が少なく、今後は「下級生主体のチーム」だったので、成すれば優勝も狙える」と今季のリーグ戦を振り返った。

首脳は東海大、中央大、法政大、国武大の勝利を挙げ、4勝4敗1分で第6位という結果となった。デフェンスの力が評価さ



力投する久保(東海大戦) (写真提供:筑波大学スポーツアシション)

女子 3勝で6位に終わる 男子 井上が敢闘賞

ハンド

平成23年度春季リーグ戦が4月30日-5月29日にかけて、日本体育大学健康志体館(横浜市青葉区)で行われた。

女子は4月30日の桐蔭大の初戦を31対22で突破。その後も、東京女子大、日本女子体育大に勝利するが、東海大、日本体育大に敗れ、3勝4敗で6位になった。キャプテン



シュートを放つ本学選手

を務める中西規(体専4年)は「相手先手を取られ、すべてのプレーが後手敗因だと思っただけで、時間がたつと、どこか選手一人ひとりが危機感を持って練習がはじかると話した。」

男子は東海大、中央大、法政大、国武大の勝利を挙げ、4勝4敗1分で第6位という結果となった。デフェンスの力が評価さ

れた井上元輝(同4年)が、員で粘り強くパスを回して敢闘賞を受賞。舟木浩斗(同2年)は「研究は「秋に向けて、攻撃や得点の力を強化していきたい。選手全

記録ファイル

◆卓球 平成23年度春季関東学生卓球リーグ戦(6月9日-11日、東京武道館) タナ(同2部) 筑波大4-0

◆バレーボール 筑波大4-0(同2部) 筑波大4-0

◆バレーボール 筑波大4-0(同2部) 筑波大4-0

◆バレーボール 筑波大4-0(同2部) 筑波大4-0

◆バレーボール 筑波大4-0(同2部) 筑波大4-0





ロシアのイメージを... 井上千恵美 (ロシア) 教育大学

ロシアのイメージを... 井上千恵美 (ロシア) 教育大学

寒くても温かい国、ロシア

第35回春季スポーツデー



ロシアの友人たちと(手前が井上さん)

ロシアの友人たちと(手前が井上さん)

雨降るも、無事に終了

新議長団決定

全学学類・専門学群代表者会議



成井暢宏



山下薫平



平柳良

3Eカフェ

3Eカフェは本学生が...

多様な意見出る

多様な意見出る

学長との茶話会

教職員と意見交換

SAVE POWER. 節電意識の徹底を



晴天の下でのWater Warsの様子

晴天の下でのWater Warsの様子

締め切り迫る

筑波学生文芸賞

筑波学生文芸賞

筑波学生文芸賞



